



れん



次世代につながる教育フォーラム……………1p
 PTA活動（小学校）……………2～4p
 PTA活動（中学校）……………5p
 委員会活動……………6p

富山市PTA連絡協議会広報紙 第108号

次世代につながる教育フォーラム

富山市に要望書を提出



「インクルーシブ教育」「不登校・教員の多忙化」「学校再編」「コミュニティ・スクール」について、教育研究委員会で調査・研究を行ったものを取りまとめた要望書を藤井市長、宮口教育長に手渡しました。

基調講演 「未来の教室」をつくらう

キーワードは「特例の一般化」

- たくさんのイノベティブな特例を普通にする
- 不登校特例校
- 特別支援学校
- 教育課程特例校
- 通信制・単位制高校の通学コース



経済産業省の浅野大介氏をお招きし、「GIGAスクール構想で始まる学びの自律化・個別最適化」というテーマで、教育DXを活用したこれまでの常識にとられない学びの形をご紹介します。

パネルディスカッション



「持続可能なコミュニティ・スクールの可能性」というテーマでその目的、これまでの取り組みや今後の課題、私たちPTAの関わり方などについての意見交換がなされました。



四方小学校

グラウンドキャンプ



四方小学校PTA



令和4年9月17日(土)~18日(日)に四方小学校のグラウンドで「グラウンドキャンプ」を開催しました。例年は小学校の教室で宿泊する「インドアキャンプ」を行っていましたが、コロナ感染予防対策が難しいことからグラウンドでの内容変更開催となりました。「コロナ禍でかわいそうな世代とは言わせないぞ!」との思いでPTA執行部が開催に向けて協議を進めて実現しました。

日中は「アユの放流活動」の一環として「アユのつかみ取り」を行いました。夕方からは「たき火」とグラウンドでの「映画上映」。夜は家族単位での食事とテント泊です。

「アユのつかみ取り」に60名、テント泊に30名の参加がありました。いつもの小学校グラウンドでの非日常的な体験が児童の忘れられない楽しい記憶となれば嬉しいです。

コロナ禍は次の局面に進みつつありますが、これからも児童のために何が出来るかを考えながら楽しくPTA活動を行っていこうと思います。



中央小学校

学校に泊まろうキャンプ



中央小学校PTA

母親だけではなく、父親もPTAに参加を。25年前、中央小学校へと合併する前から存在するお父さんだけの会、その名は「親ゆびの会」。



かつての先駆者達が作った歴史ある会です。これまでも様々な事業を、その担当委員長がお父さんたちを巻き込み、子供たちの喜び顔を求めてきました。

今年は、学校に泊まろうキャンプを3年振りに開催

しました。「一日だけでも日常を取り戻したい!」そんな思いから、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して飲食の提供も行いました。日中はプールで「サップ」体験、体育館では「トランポリン」や「スラックライン」体験を行いました。夜はメインイベント「ハンター逃走中」を行いました。ハンターが登場すると子供たちのテンションは最高潮になりました。ハンターはリアル感を演出し、無表情でただただ子供たちを一人残さず40分間追いかけました。小さい子が泣いちゃう時には心の中で「ごめんね」と思いながら。



最後は子供たち数名がハンターから逃げ切り任務を成功する事が出来ました。大人も子供も疲れ果て消灯時刻にテントでみんな静かに就寝しました。

参加者400名と大勢の方に9月のアツイ夜を楽しんで貰えたと思います。それ以上に父親の絆も深いものになりました。



大沢野小学校

カタレ富山ホームゲーム観戦 & スタジアムツアー



六葉会



大沢野小学校では「風の子 ゆめひろば」と題したPTA主催の親子で楽しめる学園祭風のイベントを毎年10月～11月に開催しています。

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行により、近年は縮小した、子供たちのみでの開催を余儀なくされておりましたが、新型コロナウイルス感染症が落ち着いた今年度は、地元プロスポーツチームである、カタレ富山さんのご協力の下、ホームゲーム開催時に親子で参加できるホームゲーム観戦&スタジアムツアーを「風の子 ゆめひろば」として開催しました。

普段は入れないスタジアム内のVIP席や電光掲示板制御室の見学、インタビュールームでのインタビュー体験、試合開始前のウォーミングアップをピッチ横で見学、マスコットキャラクターや日本代表バスとの記念撮影など、試合前に盛りだくさんの体験をしました。試合開始時には、スタジアムグルメを食べながらの試合を観戦となりました。参加者は初めてプロスポーツを観戦したという方も多く見られ、多くの興奮と感動がありました。



速星小学校

速星小学校PTAフェスティバル

速星小学校PTA



令和4年11月26日(土)に13年かけて増改築工事していた竣工記念式典に合わせて、PTAフェスティバル「速星の伝統を繋ぐ第一歩」を開催しました。

開催にあたっては子供たちの心に残るイベントをしたいと考え、コロナ前に開催していたサマーフェスティバルの形式を変えて開催できないか? 速星地区の伝統を子供たちが体験することができないか? 子供たちに様々なことに触れてもらうことはできないか? などいろいろ検討しました。

その結果、速星地区伝統の獅子舞競演・速星小学校伝統のお囃子共演会、学校給食パンでおなじみの皆口製パンさんのパン販売、アルファベットキーホルダー体験、射的、ハンドボールチーム「アランマーレ富山」によるハンドボール体験会、はたらくくるま展示、自作の富山県最大級の創作大型「鯛のかまぼこ」展示など目白押しのイベントを開催しました。参加をした子供たちの笑顔、保護者の笑顔を見ることができ、とても良い事業になったと感じています。



堀川小学校

堀小ふれあいフェスティバル

有成会

令和4年10月15日(土)、堀小ふれあいフェスティバルを開催しました。コロナ禍での過去2年間は規模を



縮小し、子供たちにゲームを楽しんでもらう企画のみ実施していましたが、今年度はご家族も一緒に参加できる縁日コーナーやワークショップも開催しました。お菓子すくいやスライム作り、光るうちわ作りなど、各コーナーでたくさんの子供たちの笑顔やご家族で楽しむ姿がみられました。また、地区センターにもご協力いただき、グラウンドでは堀川中学校吹奏楽部の演奏、自衛隊・警察車両の展示、キッチンカーマルシェなども開催されました。久しぶりに地域の方にも小学校に足を運んでいただき、大いに盛り上がり活気のある行事となりました。



まだ新型コロナウイルス感染症の影響は続いています。PTA役員で協力して楽しい企画を考え、子供たちや保護者の方々、そして地域の皆さまに来年度も今年以上に喜んでもらえる行事にしたいと思います。

東部小学校

とうぶっ子まつり



東部小学校PTA



令和4年11月20日(日)、令和元年以来3年ぶりにバザー『とうぶっ子まつり』を「『Well-being』みんな楽しんで実感しよう!」のテーマで開催することができました。コロナ禍での開催のため、従来実施していた綿菓子、フランクフルト、うどん等の調理品販売と校内での食事を取り止め、提供品販売、ゲーム6種類、スーパーボールすくい、お化け屋敷、テイクアウト品販売(みたらし団子、かりんとう饅頭、お菓子詰合せ)のみの縮小した規模で開催しました。また、午前・午後の2部制



として来場者の分散にも努めました。午前・午後ともに、東部小管楽器クラブが『校歌』、『ミッキーマウスマーチ』、『ルージュの伝言』、『こころが今日も笑顔』の4曲を演奏し、オープニングセレモニーを行いました。各コーナーともに大盛況で、規模縮小ながらも『とうぶっ子まつり』は大成功で終えることができました。ご協力いただいた保護者の皆さま、地域の方々に感謝を申し上げます。



南部中学校

6年生交流会

南部中学校校区ブロック

令和4年11月13日(日)、南部中学校体育館で、次年度新1年生となる校区3つの小学校の6年生を招いて交流会を開催しました。

コロナ禍で3年ぶりの実施でしたが、小学生と中学生総勢72名が参加しました。冒頭に校長先生と生徒会長から歓迎の言葉がありました。その後、混合8チームで自己紹介とチーム名を決め、南部中のPTA役員が企画した6種類のゲーム(謎解き・片足立ちバランスゲーム・〇×クイズ・イントロドン・逃げ逃げかごに玉入れゲーム・みんなで答えを合わせよう!〇〇といえクイズ)を半日かけて行いました。最初は緊張気味でした



が、中学生たちが上手くリードしてくれて、ゲームが進むごとに盛り上がっていきました。最終的に総得点の高いチームから、好きなお菓子とジュースを持ち帰ってもらいました。参加した子供たちにはとても楽しんでもらえ、中学生との触れ合いの中で、来年からの中学生生活もイメージが湧いたのではと思います。PTA役員の皆さんは、企画から準備、当日の運営や検温・消毒などの感染対策まで完璧な仕事ぶりでした。コロナ禍の中でも、なんとか子供たちを楽しんでもらいたいというPTA役員の想いが、このイベントを成功に導いた要因だと思っております。



西部中学校

交通安全教室

西部中学校校区ブロック

西部中学校区ブロックでは、来年度新中学1年生となる桜谷、五福、神明小学校6年生児童と保護者を対象とした「交通安全教室」を、令和4年9月の統一学校公開日に合わせて開催しました。

富山西警察署から講師を招き、交通ルール・マナーや自転車の正しい乗り方などについて、実際に発生した交通事故事例を交えながら分かりやすく講演していただきました。自転車のルールブックに加え、西部ブロック会より記念品として反射材キーホルダーを贈呈し、交通安全を呼びかけました。



大泉中学校

大泉・南部合同ブロック会議

大泉中学校校区、南部中学校校区ブロック

令和4年12月14日(水)、富山市立中央小学校ミーティングルームで、「南部・大泉合同ブロック会議」を開催いたしました。

毎年各ブロックにおいてブロック会が開催されていますが、今年も他のブロックの方とも意見交換し交流を持つことにより、各校のPTA活動に役立てるために、ブロック長同士連絡を取り合い会合の場を設けました。参加人数は、コロナ禍に配慮して各校2名までとし、市P連会長、各校PTA役員(中学校2校・小学校6校)の計15名でした。会議の内容は、南部中学校さんと堀川小学校さんが代表して単Pの行事報告を行い、その後各校のPTA活動の意見交換を行いました。役員会開催の方法(WE Bなど)、総会の予定、事業収支、役員決め、バザー内容など活発に意見交換が行われ、各校とも熱心にPTA活動に取り組んでおられると実感しました。南部ブロックと大泉ブロックの合同ブロック会議は初の開催でしたが、情報交換することにより、各校にとって今後のPTA活動の気付き、参考になったのではないかと思います。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



親学び企画運営委員会

親学びサロン

親学び企画運営委員会では、9月29日に第3回、11月19日に第4回の「親学びサロン」を開催しました。

私たちの子育ての先生は、自分を育ててくれた自分の親以外にいないのではないかと思います。「親学びサロン」は、それぞれ違う子育ての先生を持つ者（親）どうしの話し合いや意見交換を通じて違う価値観に触れ、今一度『親としての自分』を見つめ直し『気付き』を得ていただく場所です。日ごろ、人に聞いてみただけかかったことや、今直面している困りごとなど、同じグループになった参加者の皆さんに気軽に聞いてみるのも良いでしょう。

きっと皆さんそれぞれに課題解決のヒントを持ち帰ることが出来ると思います。今後の「親学びサロン」に是非ご参加ください。



懇談会企画運営委員会

富山市議会議員、富山市教育委員会との懇談会

各団体と『よりよい教育環境の実現のために』という議題で懇談会を行いました。テーマごとに分科会を設け、お互いの問題点を話し合い、子供たちのためにどのような協力の仕方があるのか意見交換をしながら懇談を深めました。

【テーマ】①インクルーシブ教育について②不登校について③コミュニティスクールについて④学校再編について⑤教員の多忙化について⑥部活動について

小学校校長会役員との懇談会
令和4年8月17日(水)
婦中ふれあい館

中学校校長会役員との懇談会
令和4年8月24日(水)
婦中ふれあい館

富山市議会議員との懇談会
令和4年10月18日(火)
婦中ふれあい館

富山市教育委員会との懇談会
令和4年11月18日(金)
とやま市民交流館(富山駅前 CiC ビル3階)



良書特別委員会

良書推薦リーフレット

良書特別委員会では、今年も活動の成果として良書推薦リーフレット『おもしろい本みつけたよ』第26号を発行し、市内小中学校すべての児童生徒に配布しました。

委員はPTA会員から公募されていること。ここが、なんととっても市P連の他の委員会と当委員会の異なるところでしょう。自身が読書好き・子供が本好き・子供に本を読んでほしいから……など、参加の動機はそれぞれですが、毎月の委員会を通して、子供たちのため真剣に、そして委員自身も楽しみながら、児童書を読み推薦図書を選んでいます。

いまの子供たちのために書かれた本には、いまの子供たちにとって、大人たちにとってのリアルが詰まっています。ぜひ、リーフレットをご覧ください。



良書推薦リーフレット



事業報告

既に活動を終了した事業については
ホームページをご覧ください。



<http://pta-toyama.jp>



富山市PTA連絡協議会ホームページ



編集後記

新型コロナウイルス感染症インフルエンザウイルスの流行となかなか子供たちの学校環境は落ち着きませんが、富山市の各PTAでは今年度の活動再開報告をいただきました。今号では、多くのPTA活動の中から特色ある活動をされた学校を取り上げさせて頂きました。この広報誌が来年度の皆さまのPTA活動の励みになればと思います。

(委員長 石田)

令和4年度広報委員会
委員長 石田圭市郎(中央小)
副委員長 梅澤 英央(大沢野小)
副委員長 竹澤 友香(堀川中)
副会長 原 章洋(西部中)
副会長 松本 規人(堀川中)